

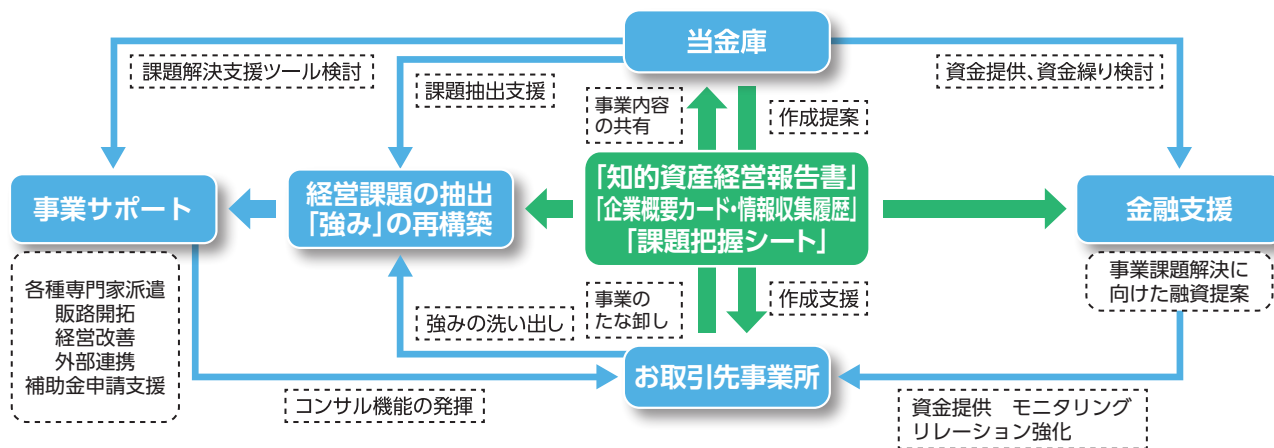
中小企業の経営改善に関する態勢整備と取組状況

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況



●「課題解決型経営」への支援体制

当金庫は、「知的資産経営報告書」の作成支援や当金庫独自のお取引先事業所の情報蓄積ツールである「企業概要カード・情報収集履歴」と事業内容把握のためのヒアリングシートである「課題把握シート」の作成を通じて、お取引先事業所の事業の強みと経営課題の抽出を行い、外部機関・外部専門家とも連携しつつ、ビジネスマッチングや販路拡大等の事業サポート、金融支援による課題解決のお手伝いをしています。



●事業サポートと外部専門家・外部機関

経営改善支援、事業再生支援	知的資産経営支援セミナー開催、 「経営レポート・報告書」作成支援	「ひょうご中小企業技術・ 経営力評価制度」の活用	販路開拓	専門家派遣制度
・中小企業活性化協議会 ・公認会計士、税理士等	・中小企業診断士 ・(公財)ひょうご産業活性化センター	・(公財)ひょうご産業活性化センター	・兵庫県信用金庫協会 川上・川下ビジネスネットワーク事業 ・(公財)大阪産業局 大阪府ものづくりB2Bネットワーク よい仕事おこしネットワーク	・兵庫県知財総合支援窓口 ・(公財)ひょうご産業活性化センター ・中小企業119 ・兵庫働き方改革推進支援センター

主な中小企業経営支援に関する取組状況

1. お客様事業所の資金繰り支援

新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の高騰等により、直接的・間接的に影響を受けておられるお客様の相談を積極的に承るとともに、公的金融機関と提携した支援ローンもご用意しています。

各種補助金・支援金申請のお手伝いや資金調達、お借入れ方法の変更、特に長期の分割返済で借入すべき設備対応資金や長期運転資金と、短期借入で対応すべき経常運転資金を見直し、長期借入・短期借入の組み換えを行うことで、資金繰りの改善を支援させていただきます。

2. お客様事業所の「本業支援」のための事業サポート

当金庫は、上記資金繰り支援と併せて、お客様の事業の課題解決につながる各種サポートを行っています。お気軽にお声がけください。

- 知的資産経営支援
- 販路・仕入先開拓
- 創業・新事業支援
- 各種補助金申請支援
- 事業承継
- 経営相談(経営改善・人材確保・デジタル化・生産性向上)
- 知的財産
- 技術相談
- 海外展開
- 医療・福祉事業支援
- 専門家派遣
- 省エネ・脱炭素化支援 等

事業者の皆様へ

お借入れの組み換えをご検討されませんか?

月々の返済が多すぎて資金繰りが厳しい
借入金の口数が多すぎて返済が大変

お借入れには月々返済を行う「長期借入」と月々の返済が必要のない「短期継続借入」があります。現在のお借入れ内容を見直すことにより、月々の返済の軽減、また資金繰りの安定化が図れます。

お近くの《たんよう》にお気軽にご相談ください!

[本部お問い合わせ先]
事業所営業推進課
☎ 0120-200-707
受付時間 月～金 10:00～17:00

※審査の結果、ご希望に添えない場合がございます。

「よろず信用」 但陽信用金庫
〒650-0047 神戸市中央区東ふもと2-1-1

[相談窓口]
当金庫各店舗または本店本部
本店本部フリーダイヤル
: 0120-200-707

たんよう 但陽信用金庫
事業サポートメニュー

事業者の皆さまの課題解決をご支援します

1. 経営資源整理 [] 経営資源を整理したい [] 経営資源の活用を支援したい [] 経営資源の活用を支援したい	2. 販路・仕入先開拓 [] 販路・仕入先開拓を支援したい [] 販路・仕入先開拓を支援したい [] 販路・仕入先開拓を支援したい	3. 創業・新事業 [] 創業・新事業を支援したい [] 創業・新事業を支援したい [] 創業・新事業を支援したい
4. 各種補助金 [] 各種補助金を活用したい [] 各種補助金を活用したい [] 各種補助金を活用したい	5. 事業承継 [] 事業承継を支援したい [] 事業承継を支援したい [] 事業承継を支援したい	6. 経営相談 [] 経営相談を支援したい [] 経営相談を支援したい [] 経営相談を支援したい
7. 知的財産 [] 知的財産を支援したい [] 知的財産を支援したい [] 知的財産を支援したい	8. 技術相談 [] 技術相談を支援したい [] 技術相談を支援したい [] 技術相談を支援したい	9. 海外展開 [] 海外展開を支援したい [] 海外展開を支援したい [] 海外展開を支援したい
10. 医療・介護・福祉 [] 医療・介護・福祉を支援したい [] 医療・介護・福祉を支援したい [] 医療・介護・福祉を支援したい	11. 専門人材派遣 [] 専門人材派遣を支援したい [] 専門人材派遣を支援したい [] 専門人材派遣を支援したい	12. エコエネ・脱炭素化支援 [] エコエネ・脱炭素化支援を支援したい [] エコエネ・脱炭素化支援を支援したい [] エコエネ・脱炭素化支援を支援したい

「よろず信用」 但陽信用金庫

3. “希望の商い・ワクワク系”実践と伴走支援

当金庫は、オラクルひとしくみ研究所 代表 小阪裕司氏の“商いの理論と実践手法”「ワクワク系マーケティング」セミナーを開催しています。

全都道府県及び海外の約1,500社で取り組まれている「ワクワク系マーケティング」実践会においては、人の「感性」と「行動」を軸に「動機づけ」と「絆づくり」を二本柱とした商いの考え方と実践手法を、参加事業者自らの商いの場で実践・計測することで、楽しく仕事ができるビジネスモデルを築く取り組みを行っています。

2022年度は、コロナ禍で自粛していた対面の「ワクワク系入門講演（387社499名の申込）」を2023年3月13日（月）「アクリエひめじ」で3年ぶりに開催し、2023年4～10月の実践講座（4回コース）も対面での開催を予定しています。

また、当金庫の渉外担当者が、実践講座に同席するとともに、その後も参加事業者様を継続して訪問し伴走支援に努めさせていただきます。



4. 「知的資産経営」支援

「知的資産」とは、バランスシートに記載されている資産以外の、形や計数で表すことができない資産（経営理念・人材・技術力・組織力・ネットワークなど）を指しており、これらを自社の強みとして経営者と社員が共有し、経営資源として有効に活用することにより自社の価値向上に結び付けることを「知的資産経営」といいます。

当金庫は、2009年度から「知的資産経営」支援への取り組みを開始しました。

2022年度は7月27日（水）にオンラインにて「知的資産経営支援セミナー」を開催（423社444名が参加）しました。また、知的資産経営に取り組む第一歩となる「経営デザインシート作成セミナー」を「加古川」「神崎」「姫路」「朝来」の4会場で、2022年9月～2023年1月にかけてそれぞれ4回コースで開催しました。



〔経営デザインシート作成支援セミナー〕

2023年度は「知的資産経営支援セミナー」の対面での開催を予定しており、5月に「加古川」「朝来」、9月に「姫路」「神崎」で開催します。

さらに、「経営デザインシート作成」では、当金庫の支店長および渉外担当者が参加事業所の伴走支援をいたします。

スマホで詳しく！

《たんよう》の「知的資産経営」支援の詳細を掲載しています。→



6. 「ものづくりB2Bネットワーク」を活用した製造業のためのビジネスマッチング支援



公益財団法人大阪産業局が運営する標記ネットワークを通じて寄せられる「こういうモノを試作して欲しい」「こういう技術を持つ事業所を探している」といった要望について、渉外担当者がお客様事業所へその情報をお届けし、ビジネスマッチングのお手伝いをしています。

	2020年度	2021年度	2022年度
情報提供件数	143 件	124 件	142 件
エントリー件数	67 件	88 件	132 件
商談件数	42 件	44 件	67 件

5. お取引先の補助金・助成金申請支援

取組開始から2023年3月末までに632件の申請支援に取り組み、うち281件（補助金合計額41億97百万円）が採択されました。

補助金の種類	採択件数
ものづくり・商業・サービス補助金	179件
創業関連補助金	16件
新商品・新サービスの開発支援事業補助金	1件
小規模事業者活性化補助金	4件
事業再構築補助金	81件
合 計	281件

7. 「五つ星ひょうご」への申請をお手伝いしています。

兵庫県と公益社団法人兵庫県物産協会では、兵庫の豊かな自然や歴史・文化を生かした商品のうち、《地域らしさ》に加えて、これまでにない新規性やオリジナリティなどの《創意工夫》が施された逸品を、「五つ星ひょうご」の統一ブランド名で全国に発信しています。

当金庫は、お取引先に対し「五つ星ひょうご」への申請支援を行っており、令和5年「五つ星ひょうご」には、当金庫が申請をお手伝いした2社・2品が選定されています。



五つ星ひょうごのホームページ

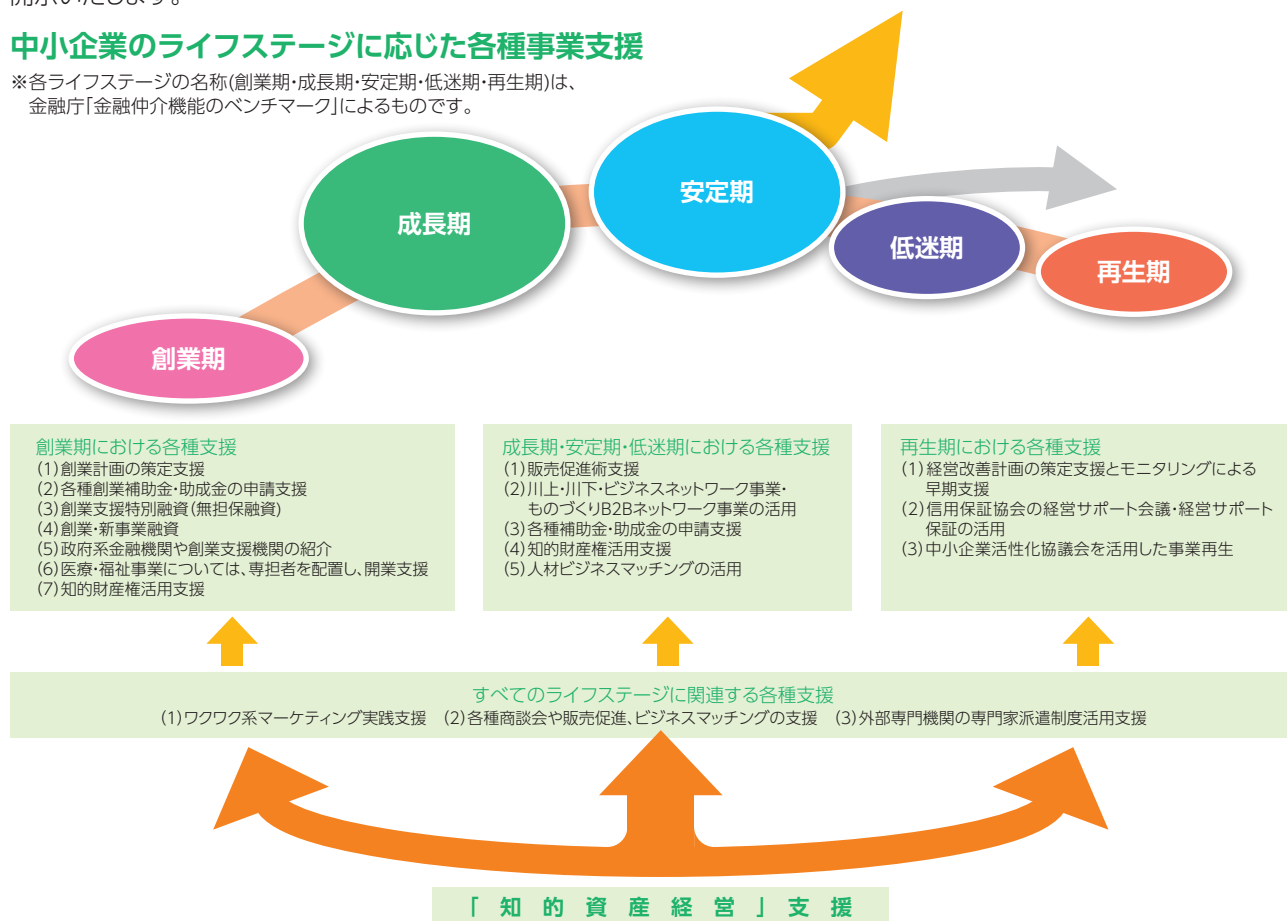


金融仲介機能のベンチマークに関する開示

当金庫は、中小企業のライフステージに応じた経営支援や事業性評価に基づく融資等を行っております。これらの取組みについてより理解を深めていただくために、「金融仲介機能のベンチマーク」を用いて、当金庫の金融仲介の取組みを具体的に開示いたします。

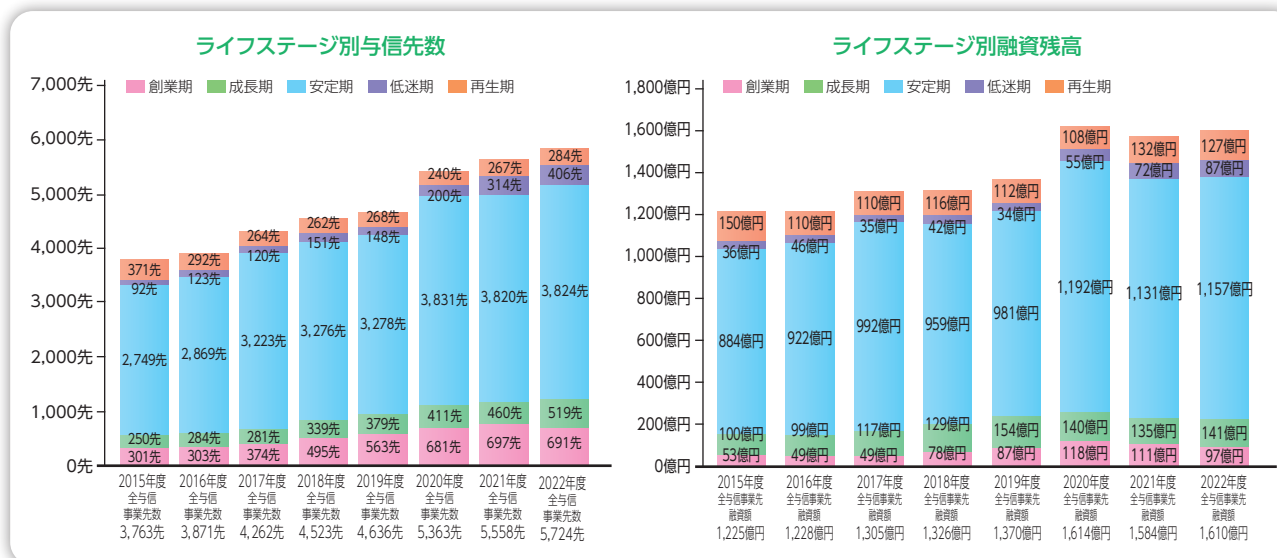
中小企業のライフステージに応じた各種事業支援

※各ライフステージの名称(創業期・成長期・安定期・低迷期・再生期)は、金融庁「金融仲介機能のベンチマーク」によるものです。



1. 中小企業の経営支援全般に関するベンチマーク

① お取引先事業所のライフステージ別の与信先数及び融資残高



(※1) 全与信先の過去5期の売上高により、ライフステージを区分しています。

創業期…創業、第二創業から5年までの先 成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先 安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%の先

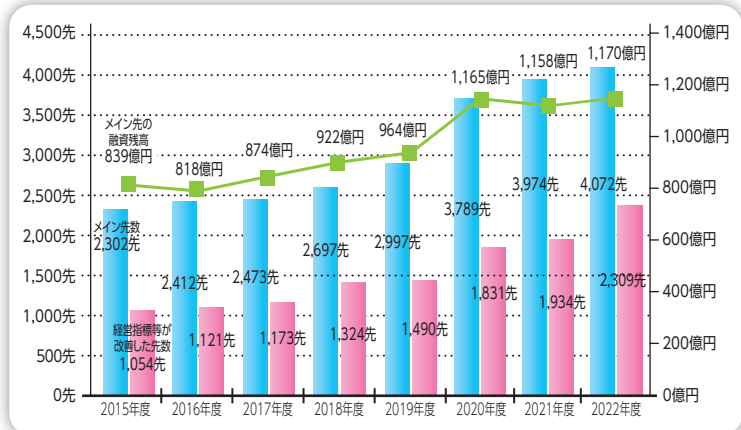
低迷期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先 再生期…貸付条件の変更または延滞がある先

(※2) 融資額は事業年度末の残高

(※3) 直近5期の売上高が連続して入手できない先(主として個人事業者)は、「安定期」に区分しました。

(2016年3月期:939先 72億円、2017年3月期:937先 48億円、2018年3月期:900先 45億円、2019年3月期:775先 36億円、2020年3月期:665先 31億円、2021年3月期:530先 33億円、2022年3月期:448先 25億円、2023年3月期:486先 26億円)

②当金庫がメインバンクとなっているお取引先事業所数及び同先への融資残高と、メイン先のうち経営指標等の改善が見られたお取引先事業所数及び同先への融資残高

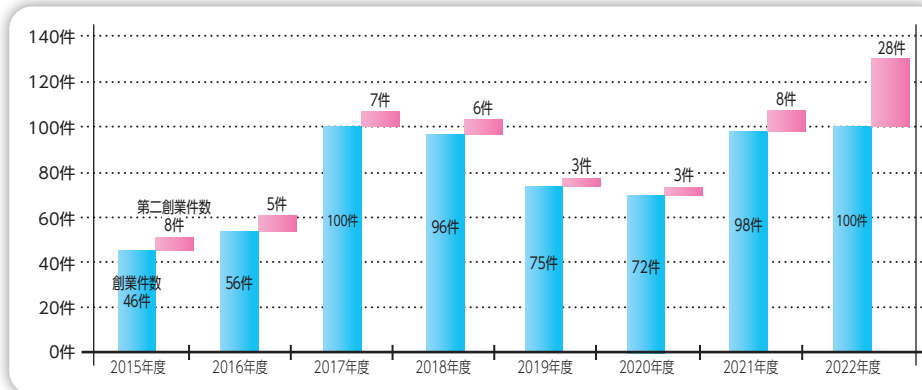


	2020年度	2021年度	2022年度
経営指標等が改善した先 (2023年3月期:2,309先)に 係る3年間の事業年度末の 融資残高の推移	858億円	865億円	881億円

- (※1)メイン先数は、事業年度末における与信先企業(グループ含む)への融資残高1位となっている先数を計上しています。
- (※2)「経営指標等が改善した先」の定義を、次の3指標のうちいずれか1指標以上改善した先または、従業員数が増加した先とし、要管理先以下は対象外としました。
- 売上増加率 = (最新期売上高 / 前期売上高) - 1 …(2期連続プラスまたは5%以上の増加)
 - 労働生産性 = 営業利益 / 従業員数
 - 自己資本比率 = 純資産 / 負債・純資産合計
- (※3)上記先数については、お取引先の資本関係等により同一グループと認められる場合は、グループ内に複数先該当がある場合にも1先としています。

2.創業期・新事業支援に関するベンチマーク等

①当金庫が関与した創業、第二創業の件数



- (※1)「第二創業」の定義は以下の通り
- 既に事業を営んでいる企業の後継者等が新規事業を開始すること
 - 既存の事業を譲渡(承継)した経営者等が新規事業を開始すること
 - 抜本的な事業再生によって企業が業種を変えて再建すること

【参考】創業・第二創業融資実績

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
創業・第二創業 融資実績	件数 54件	61件	107件	102件	78件	75件	106件	128件
	金額 1,039百万円	492百万円	848百万円	1,718百万円	723百万円	1,150百万円	1,015百万円	1,456百万円

※創業支援のうち医療・福祉事業については、専担者を配置し、開業支援等に取り組んでいます。

3.再生期、経営改善に関するベンチマーク等

①当金庫が貸出条件の変更を行っている取引先の経営改善計画の進捗状況

(単位: 先)

	2021年度	正常化	完済	上位へランクアップ	下位からランクアップ	下位にランクダウン	上位からランクダウン	新規条件変更	2022年度
好調先	10	—	△3	—	1	—	—	2	10
順調先	33	△1	△4	—	6	△1	—	5	38
不調先	149	△3	△11	△7	—	—	1	40	169
計	192	△4	△18	△7	7	△1	1	47	217

※売上基準のみでは実態と異なる先があるため、利益、キャッシュフロー状況を勘案し、調整しています。また、小規模先で経営改善計画は未策定ながら正常化が見込める先、残高が少額で完済が見込める先は不調先としていません。

【参考】経営改善支援等の取組み状況(2022年4月～2023年3月)

(単位: 先、%)

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先数	αのうち 期末に債務者 区分がランク アップした先数	αのうち 期末に債務者 区分が変化し なかった先数	αのうち 再生計画を 策定した先数	経営改善支援 取組み率	ランク アップ率	再生計画 策定率
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先	① 4,829	5	—	3	2	0.1	—	40.0
要注意先	② 569	86	4	78	51	15.1	4.7	59.3
うちその他要注意先	③ 17	—	—	—	—	—	—	—
うち要管理先	④ 56	11	0	11	9	19.6	0.0	81.8
破綻懸念先	⑤ 47	—	—	—	—	—	—	—
実質破綻先	⑥ 6	—	—	—	—	—	—	—
破綻先	⑥ 6	—	—	—	—	—	—	—
小計 (②～⑥の計)	695	97	4	89	60	14.0	4.1	61.9
合計	5,524	102	4	92	62	1.8	3.9	60.8

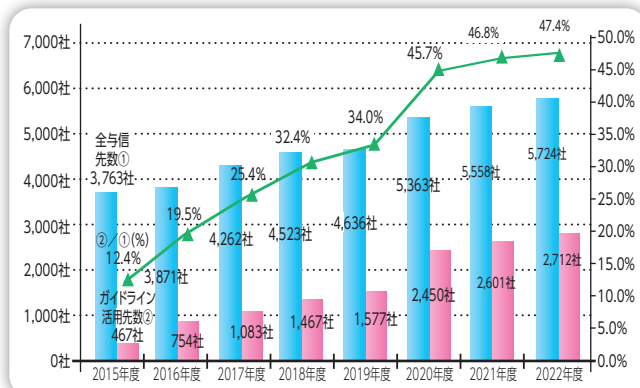
※期初債務者数及び債務者区分は2022年4月当初時点です。

4. 経営者保証に関するガイドラインへの取組みに関するベンチマーク等

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お取引先事業所からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お取引先事業所との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

※「経営者保証に関する取組方針」は当金庫ホームページの「方針・指針」に掲載しています。

① 経営者保証に関するガイドラインの活用先数及び全与信先数に占める割合



※保証協会利用、手形割引を含みます。

【参考】

(単位：件)

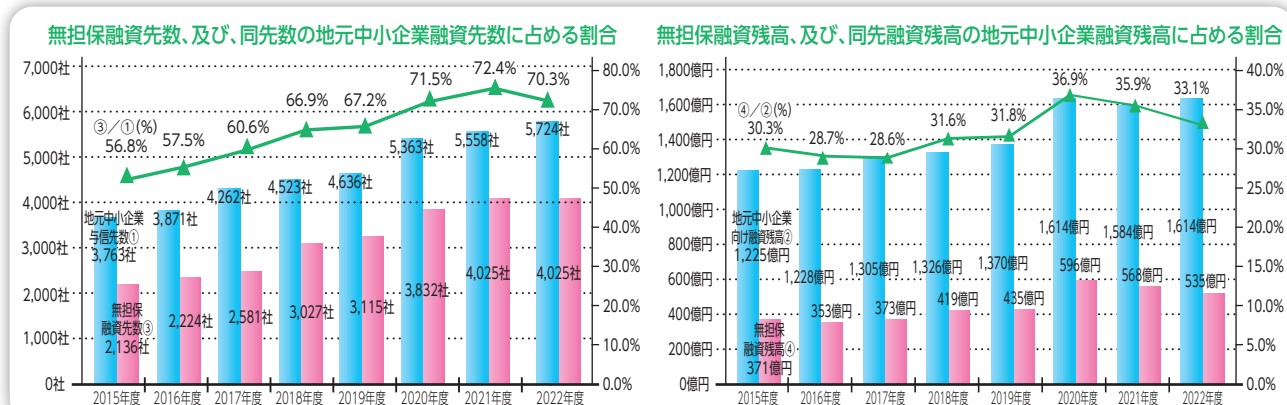
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
新規に無保証で融資した件数	643	827	936	1,017	1,362	3,135	1,768	1,856
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	10.07%	12.87%	14.50%	14.79%	21.30%	49.96%	44.91%	46.48%
保証契約を変更・解除した件数	15	19	90	98	100	109	105	63
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	1	-	-	-	-	-	-	-

5. 不動産担保・個人保証に依存しない融資、本業支援等への取組みについてのベンチマーク

当金庫では、お取引先事業所の事業の実態把握と、それに基づく最適な課題解決支援・融資によって、お取引先事業所の事業の発展をサポートすることが、地域経済の下支えや活性化につながるという考え方のもと、事業性評価への取組みを徹底しています。

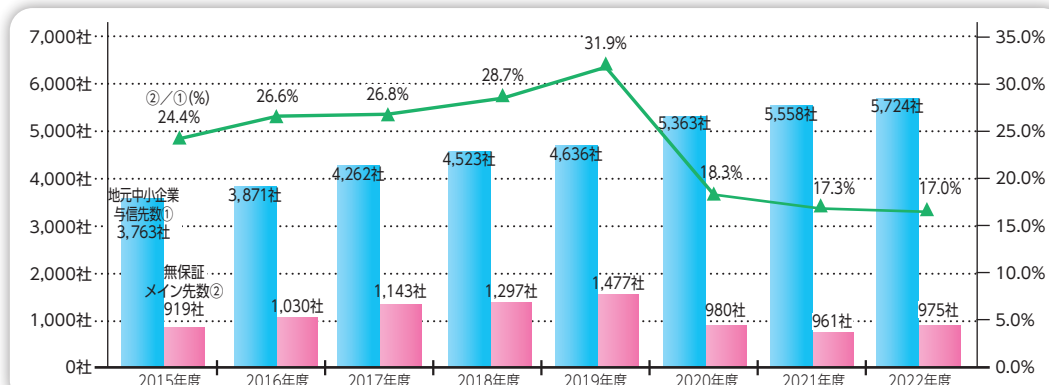
具体的には、当金庫の「課題解決型経営支援体制(P8掲載)」に示すようにお取引先事業所の「知的資産経営報告書」の作成支援の過程や、当金庫独自の「課題把握シート」の作成により、お取引先事業所と「強み」の再構築「経営課題の抽出」を共有し、金庫内外のサポート資源を駆使してお取引先事業所の事業の継続・発展を支援するものです。

① 地元の中小企業と信先のうち、無担保と信先数、及び、無担保融資額の割合(先数単体ベース)



※「無担保融資先」＝「地元中小と信先数-担保設定がある先数」で算出。(例) 2022年度 5,724-1,699=4,025社

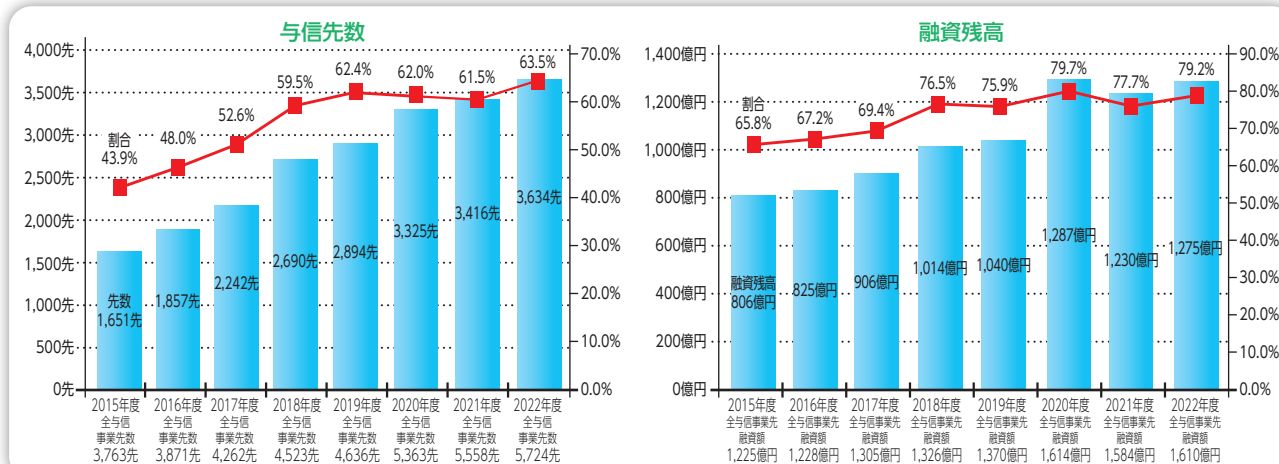
② 地元の中小企業と信先のうち、無保証のメイン取引先の割合(先数単体ベース)



※信用保証協会を含む一切の保証を取得していない先

※2020年度、2021年度において無保証のメイン先様が減少しているのは、2020年5月に創設された全国共通の「新型コロナウイルス感染症対応資金」(保証料ゼロ、3年間無利子、兵庫県信用保証協会保証付)を多くのメイン先様にご利用いただいたことによるものです。

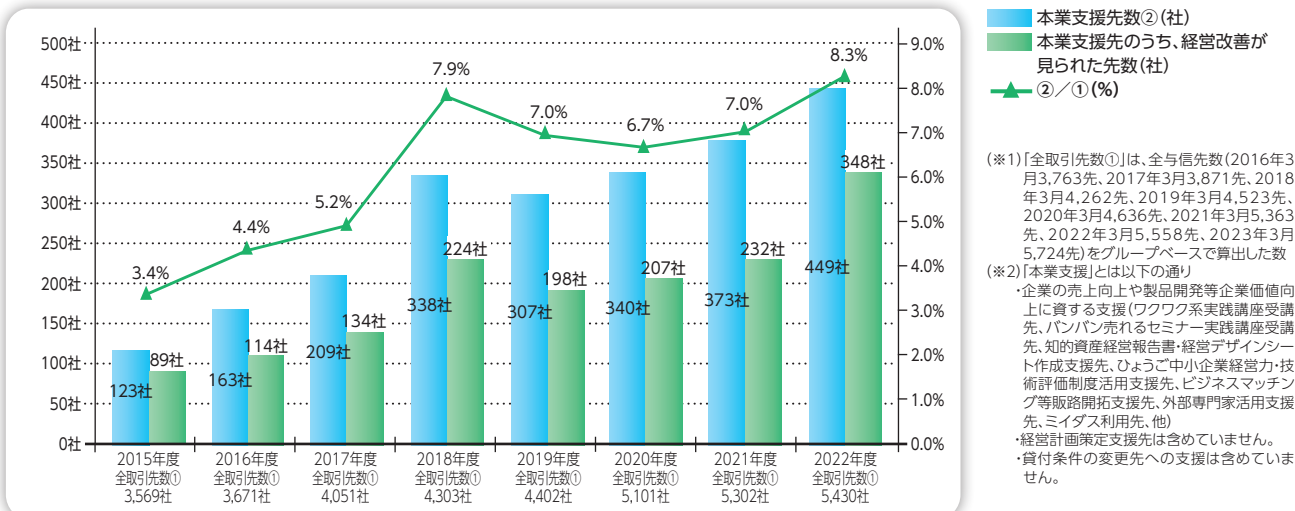
③当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額及び、全与信先数及び融資額に占める割合(先数単体ベース)



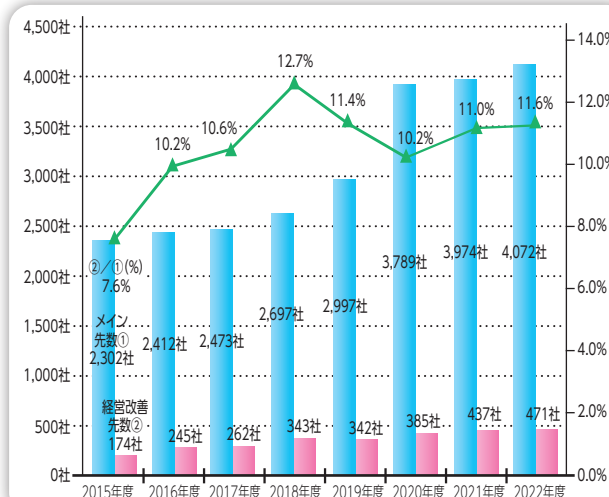
※当金庫では、「事業性評価を行っている先」について、以下の通り定義しました。

・当金庫独自の「課題把握シート」を作成している取引先 ・当金庫が「知的資産経営」を支援している先 ・当金庫が「ひょうご中小企業技術・経営力評価制度」の活用を支援した先

④本業(企業価値の向上)支援先数及び全取引先事業所数に占める割合、本業支援先のうち経営改善が見られた先数(社)



⑤メイン取引先のうち、経営改善提案を行っている先の割合

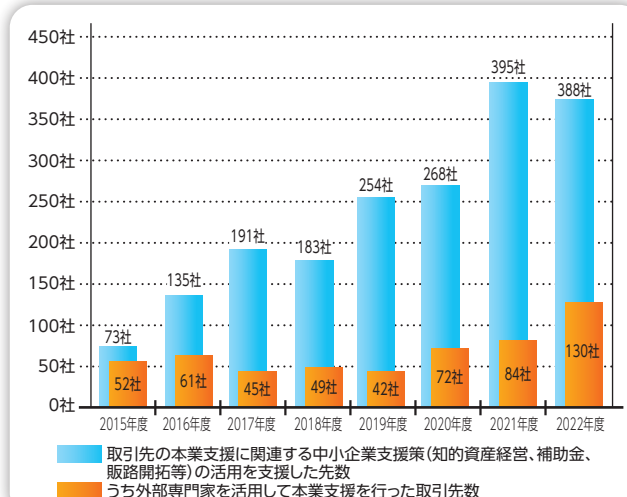


(※1)メイン取引先はグループベースでカウントしています。

(※2)「経営改善提案」は、以下の通り

・上記④の「本業支援」先 ・経営計画策定支援先(資産・事業売却、債務圧縮等含む)
・事業計画策定先・創業支援先・M&A・事業承継支援先・補助金申請支援先・人材紹介支援先
(※3)貸付条件の変更先への支援は含めていません。

⑥本業支援に関連する中小企業支援策(知的資産経営、補助金、販路開拓等)の活用を支援した先数(社)、うち外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数(社)



(※1)外部専門家(各種支援機関と各種士業としています)を活用して本業支援を行った取引先数は与信見込先を含みます。

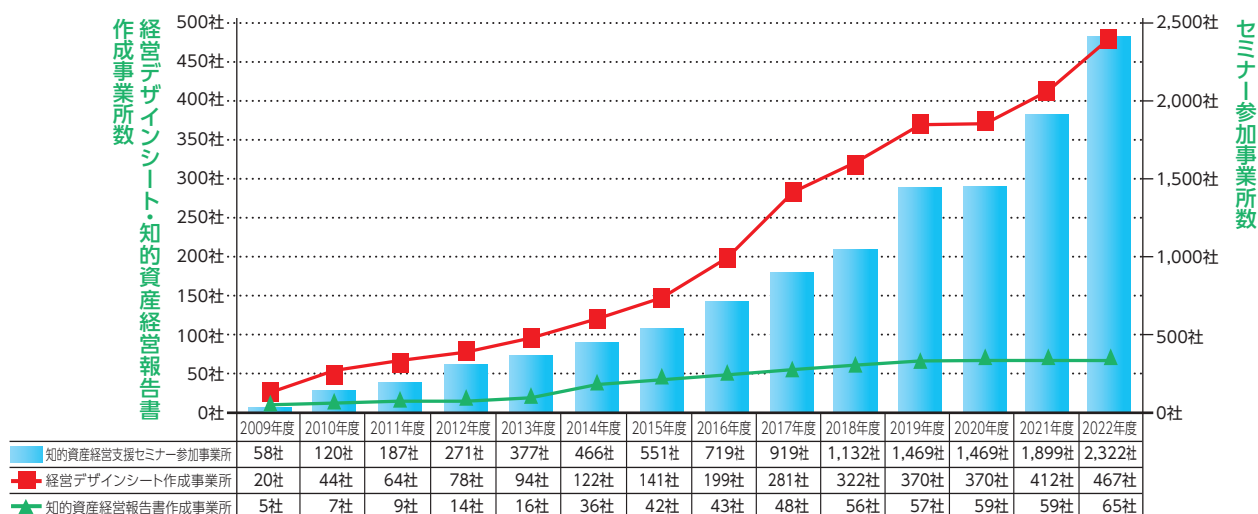
(※2)外部専門家の活用については、事業年度ごとに紹介または独自に活用した先をカウントしています。

(※3)本業支援に関する中小企業支援策の活用を支援した先数には、貸付条件の変更先への支援は含めていません。

6.当金庫独自のベンチマーク

当金庫は「知的資産経営」支援をはじめ、お取引先の本業を支援する独自の取組みを行っています。

①「知的資産経営」支援先数の推移(累計)



※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「知的資産経営支援セミナー」「経営デザインシート作成支援セミナー」の開催を見合わせました。2021・2022年度は「知的資産経営支援セミナー」をオンラインにて開催、「経営デザインシート作成支援セミナー」は感染防止策を講じた上で、加古川・姫路・神崎・朝来の4会場で開催しました。

②「知的資産経営」支援企業のうち、コンサルティング支援に発展した事業所数

知的資産経営のお手伝いをきっかけに、当金庫自身がお取引先事業所の事業の強み、課題等を共有する間柄へと深化できるようになり、補助金・助成金申請支援や販路開拓支援など、お取引先事業所の本業に関わることが出来る機会が増えつつあります。

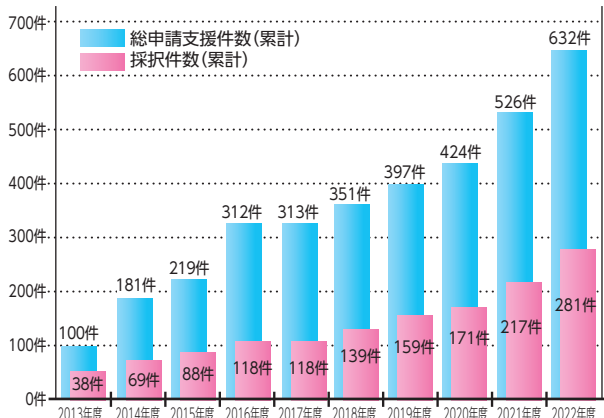
各種支援内容	2009～2022年度
事業計画策定支援	95社
補助金・助成金申請支援	89社
うち補助金・助成金採択	59社
販路拡大支援(商談会・ビジネスフェア等)	56社
シーズを基にした販路開拓	141社
川上・川下ビジネスネットワーク活用	35社
専門家派遣支援	111社
当金庫開催の事業承継セミナーへの参加	56社
当金庫開催の「バンバン!!売れるセミナー」への参加	92社
ワクワク系マーケティングセミナーへの参加	62社
創業・新事業支援	10社
人材マッチングサービス会社への紹介先数	47社
「ひょうご中小企業技術・経営力評価制度」の活用	17社
その他(ホームページ開設支援他)	75社

③認定支援機関としての「各種補助金・助成金申請支援」の実績

取組開始から2023年3月末までに632件の申請支援に取り組み、うち281件(補助金合計額41億97百万円)が採択されました。

補助金の種類	累計採択件数
ものづくり・商業・サービス補助金	179件
創業関連補助金	16件
新商品・新サービスの開発支援事業補助金	1件
小規模事業者活性化補助金	4件
事業再構築補助金	81件
合 計	281件

補助金申請支援件数・採択件数



補助金採択額・補助金申請に伴う資金支援

